

2021.12.2 (木)
第16回例会
(通算3643回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	疾病予防と治療月間
本日のプログラム	年次総会 (担当: 理事会)
次週例会	年末クリスマス家族会 (担当: 親睦活動委員会)

- ロータリーソング: 奉仕の理想 ■ ソングリーダー: 山田 浩司君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト 赤い羽根共同募金 釧路市共同募金委員会 釧路地区委員会 卯月 ひとみ会長
釧路市社会福祉協議会 総務課 藤倉 裕康係長

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。本日もたくさんのご出席をいただきましてありがとうございます。12月に入りました。クラブ会長を受けてからつくづく1週間の経つのが早いものだなと思っております。これを1年間とおされてこられた歴代会長の皆さまに、改めて尊敬の念を表しまして12月を迎えたいと思っている次第でございます。オミクロンなるものが出現しまして、どうなることやらというところでございますが、お話を聞いていますと情報集会も活発に行われているようです。これから来週のクリスマス家族例会、新年交礼会と無事に何とか年を越していければなと思っている次第でございます。気持ち良く年を越してみんなで、通常で例会を重ねていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

今日の会長挨拶はクラブ歴史編第6弾で最後になります。お付き合いいただければと思います。先ほど卯月さんが来られていましたが、お気づきの皆さんはお気づきだと思います。シロアム病院の高岡先生の娘さんで、僕も言われて初めて聞きました。実は、高岡さんも僕が資料を見ていたらすごく素晴らしいス

ピーチをされていた方で、皆さんの称賛の記述がある方でした。もしかしたら高岡先生も紹介させてもらおうかなと思っていた一人でございました。なにか縁を感じました。

今日はクラブのベテランメンバーの皆さんにとっては歴史を紹介するというよりも、ついこの間までお酒を飲んでいたという方でしたが、僕の考えている三代目のミスターロータリーということで川口雄さんをご紹介したいと思います。

川口さんは見てみると、どのメンバーからも「ロータリーの生き字引」として敬愛されておりまして「困った時は川口さんに聞け」という存在だったようでございます。

昭和34年クラブに入会されまして、昭和61年クラブ会長、平成2年にガバナー補佐を務められております。平成15年に、小船井ガバナー事務所の事務局長在職中のお亡くなりになりました。そのお亡くなりになるまで44年間、連続100%出席という記録を残されている方でございます。

この記録は僕の調べた限りでは、北村藤兵衛さんが40年間連続100%出席という記録を持っていたようですが、その記録を抜きまして歴代1位は間違いのないと思っております。

そうはいつでもこの川口さんの40年連続100%出席と、村上祐二さんの地区大会出席102回という2つの記録がありますが、この2つの記録はいつてみれば、

王の 868 本と金田の 400 勝みたいなので、更新するのは難しいだろうと思っています。一番可能性のある佐藤君におかれましては、前人未到の二冠王を目指して、44 年連続 100% と地区大会 102 回出席の更新をぜひとも目指していただければと思っています。川口さんを振り返るのにいつの追悼文的なものをご紹介させていただいて、人となりを見ていただければと思います。

その中で、亡くなられた当時地区幹事であった吉田パストガバナーの追悼文の一部をご紹介させていただければと思います。

「一昨年、釧路クラブより 20 年ぶりに小船井ガバナーエレクトが誕生いたしました。不肖私が地区幹事に指名され、一番大切な事務局を責任もって預かってくれる人材を検討し、真っ先に浮かんだのが川口さんでした。意を決して『2 年間、深いお付き合いをお願いいたします。ガバナー事務所に入り、事務局の総括をお願いしたいのですが』と話しました。すると『いいよ、ロータリー最後のご奉公を一緒にするかい』と明るく笑って答えてくれたのが本当にほんの少し前のような気がします。

それからが毎日、戦いの連続でした。事務局にはさまざまな問い合わせがたくさん来ますが、不安を与えるような返答は絶対にできません。川口さんはどんな質問にも実に明快に答えておりました。私たちはその卓越したロータリー知識に感心するとともに、すべてのロータリアンに公平に面倒くさらず、対応されていた姿には本当に頭が下がりました。ガバナー事務所が高い評価をいただきましたのも、みんな川口さんが作ったものでした」

また、清水先生からも、「まさにロータリーの生き字引であった。地区内外からも『分からないことがあったら釧路の川口に聞け』と評価が定着し、パストガバナーからも一目置かれる人材でした。それも、聞かれれば丁寧に控えめに教えてくれた。目立ちたがり屋は毛頭もない、奥ゆかしい人であり、それが尊敬される故でもあった。嵯峨さんと同期ガバナーの旧皇族の武田 R I 理事が昭和 59 年、丹頂スケート国体で釧路に来られた時に『嵯峨さんのご遺族にお会いしたい』という要望の実現も川口さんが手配してくれ、同期ガバナーからのご香料が武田様からご遺族に手渡された」

ということもあったようです。小船井パストガバナーからは、「川口さんが釧路クラブに残していただいたのは半世紀近いロータリアンとしての行動・生き方・行き方でありました。私はロータリアンとしての素晴らしい手本を持ったことの素晴らしさをかみしめながら、ご冥福をお祈りします」と、述べられておりました。

という川口さんに関するお話でございますが、85 周年ちなみまして私なりに釧路クラブの歴史を少しかいつまんでご紹介させていただきました。

一番勉強になったのは本当に私自身でございます。先輩方からは人生を前向きに楽しく生きてく生き様みたいなものを調べながら勉強させていただきました。

この 85 周年を迎えて、また 90 周年、100 周年にむけて、この思いをわれわれはしっかりつないでいく責任があると思っていますところでございます。まさに今日がそのバトンを渡す大切な節目になる日だと思っています。

今日の総会、どうぞよろしく願いしまして、会長挨拶に代えさせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

幹事報告 市橋 夢佳丞幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。他クラブの今週の例会につきましては例会案内をご一読お願いします。

また、12 月のロータリーレート 1 ドル 114 円となっております。

本例会終了後、ローズホールにて理事会を開催いたしますので理事者の皆さまはご移動をスムーズにお願いいたします。以上でございます。

赤い羽根共同募金 釧路市共同募金委員会 釧路地区委員会 卯月 ひとみ会長

感謝状授与

貴会は国民助け合い共同募金運動の趣旨をよく理解され、多額の浄財を寄付し、釧路市の社会福祉事業の推進に寄与された功績は誠に顕著であります。よって、ここに深く感謝の意を表します。



令和 3 年 12 月 2 日 釧路市共同募金委員会会長 卯月ひとみ。

ありがとうございました。

ご挨拶

皆さま、本日は誠にありがとうございました。8 月 1 日より、釧路市共同募金委員会の会長を務めさせていただいております卯月ひとみでございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

釧路ロータリークラブの皆さまにおかれましては、日頃より赤い羽根共同募金運動をはじめ、社会福祉の発展・向上のため格別なるご配慮ご支援を賜り、心よりお礼を申し上げます。また、この度は皆さまからの温



かいご寄付をいただき、重ねてお礼を申し上げます。

今年の募金活動は昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、大

変厳しい状況下ではありますが、地域の活動団体に寄り添いながら資金確保ができる貴重な仕組みとして推進されることが期待されております。コロナ禍のこのような時だからこそ取り組む必要があるということを発信しながら、役職員が一丸となって募金活動を展開しているところでございます。

共同募金会では「つながりを絶やさない社会づくり」を全国共通のテーマとし、これまで地域で築かれてきたつながりを維持するために取り組まれる福祉活動や、感染拡大の影響で地域の複雑多様化する課題の解決に向けて取り組まれる活動などへの助成をこれからも後押ししていく所存でございます。

私ごとではございますが、私の父・故高岡邦夫は1989年から1990年の間にこちらの釧路ロータリークラブ様で会長を務めさせていただいておりましたようで、釧路ロータリー60周年記念にいただいた盾を大事に飾っておりました。その盾には『奉仕とは未来である』と書いてございました。募金活動もまた未来を支えるひとつと確信しております。

最後になりましたが、歴史ある釧路ロータリークラブの皆さまの今後益々のご発展と一層のご活躍をご祈念申し上げます。はなはだ措辞ではございますが、お礼の言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

■本日のプログラム■ 年次総会

司会 これより2021-2022年度年次総会を始めさせていただきます。釧路ロータリークラブ細則第4条第1節により、杉村会長に議長をお願いいたします。

議長 杉村 莊平会長

それでは、総会を始めさせていただきたいと思っております。不慣れではございますが、議長を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。また、円滑なる議事進行へのご協力よろしくお願いいたします。

それでは、釧路ロータリークラブ細則第5条第1節に基づきまして、年次総会を始めます。初めに定足数の確認と本日の出席状況について報告をお願いいたします。

司会 定足数については釧路ロータリークラブ細則

第1条の5に基づき当クラブ会員総数の3分の1となります。

12月2日現在の釧路ロータリークラブ会員総数は103名、定足数は34名となります。本日の出席者は62名ですので本総会は成立することをご報告いたします。

議長 杉村 莊平会長

ありがとうございます。本日の年次総会が成立すると報告がありました。

次に議案の確認をいたします。本日の議案は3点でございます。

第1号議案2022-2023年度釧路ロータリークラブ理事・役員選挙について。

第2号議案前年度の財務報告及び現年度の収入と支出を含む中間報告。

第3号議案でその他となります。その他をお持ちの方はいらっしゃいますか。

なければ、第3号議案その他は削除させていただきます。

それでは、第1号議案2022-2023年度釧路ロータリークラブ理事・役員選挙について進めさせていただきます。

釧路ロータリークラブ細則第3条第1節に基づき、11月4日に次年度役員及び理事の選挙を告示し、立候補を募りましたが、11月11日の立候補締め切りまでに申し出がなかったことを受けまして、指名委員会を設置させていただき、11月18日に指名委員会を開催し、推挙させていただく候補者を決定いたしました。

初めに、次々年度会長の候補者を私から発表させていただきます。指名委員会において満場一致で決定した後藤公貴君を次々年度会長に推挙いたします。

後藤公貴君は、2012年2月9日入会以来、11年間に亘り小委員長を2度、大委員長を1度、

2017-2018年度に幹事、2019-2020年度に副会長、そして今年度に副SAAを歴任されております。

また、これまでの釧路クラブの各種事業における実行委員会等でも要職を務めあげ、クラブへの多大な貢献も皆さんの知るところでもあります。以上の点を含め、人格・経歴とともに素晴らしい人材と判断し、推挙させていただくことを決定いたしました。

皆さまの満場の拍手をもってご承認いただければと思います。いかがでしょうか。

(拍手)

大きな拍手ありがとうございます。全会一致を持ちましてご承認とさせていただきます。

それでは、会長ノミニーとなりました後藤公貴君よりご挨拶を頂戴したいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

2023-2024 年度 後藤 公貴会長ノミニ

全会でのご承認、誠にありがとうございました。後藤公貴でございます。



まさか、私がこうしてこの場に立たせていただく日がくるとは夢にも思っていませんでした。改めて、この重責に身が引き締まる思いをいたしております。

杉村会長をはじめといたします指名委員会の皆さま、そしてこれまで11年の間、私を優しくこの釧路ロータリークラブの中で育てていただいた諸先輩の皆さまに感謝を申し上げたいと思います。

2011-2012年度に、時の五明正吉会長、そして白幡パスト会長のスポンサー等をいただきまして、皆さまのお仲間に加えさせていただきました。

今、杉村会長からもあったように、この11年間、自分なりに一生懸命ロータリーの役職をやってきましたつもりですし、自分なりに楽しくそしゃくしてこのクラブに馴染んできたつもりでありますけれども、こうして改めて会長という役職を受けるということになりますと、まだまだ社会的な経験も、そしてロータリークラブの中での経験も足りないことがだんだん感じ始めておまして、自分の任期が始まるその日まで、改めて一から勉強させていただきたいと思っております。ぜひ、皆さま方にはこれまで以上に叱咤激励を頂戴いたしたいと思っております。

最後になりますけれども、私は末広町で皆さんご存知のように飲食店を経営させていただいております。2年ほど前から続くコロナ禍において、われわれの業界は以前のように活気を取り戻したとは言いにくい状況でもございますし、また新たな変異株というざわついたニュースも飛び込んで来るように予断を許さない状況が続いております。

しかしながら私がこうして皆さまの前で会長として何ができるかと考えた時に、何とか皆さまの職業を基盤とする、職業の尊さを大切にする、このクラブの中で何とか少しでも元気を発信できればいいなと思い、この度の決断に至ったところでございます。

まだまだ勉強不足でございます。まだまだ若輩者でもございます。ぜひ皆さまの支援そして叱咤激励をよろしくお願いいたします。ぜひお願い申し上げます。

今後ともぜひよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

議長 杉村 莊平会長

後藤ノミニ、ありがとうございました。よろしくお願いいたします。頑張ってください。続きまして、2022-2023年度の理事・候補者につきまして滝越会長エレクトに発表していただきます。

滝越会長エレクト、よろしくお願いいたします。

2022-2023 年度理事者発表

滝越 康雄会長エレクト

会長エレクトの立場から2022-2023年度理事者の発表を行います。お名前を呼ばれた方はその場にてご起立ください。読み上げます。



理事・清水輝彦君、理事・中島 徳政君、S A Aとして理事・脇弘幸君、会計として理事・白幡博君ですが、ご存じのとおり不幸がございましたので今日のご欠席です。理事・佐藤貴之君、理事・及川雅順君、理事・吉田英一君、理事・米本富夫君。直前会長として理事・杉村莊平君。会長ノミニから来年度は会長エレクトで理事・後藤公貴君。最後、私は会長職で滝越康雄。以上、11名でしっかりとやっていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

議長 杉村 莊平会長

滝越会長エレクト、ありがとうございました。発表になった次年度理事につきまして、皆さまの拍手をもってご承認いただければと思います。いかがでしょうか。

(拍手)

ありがとうございます。全会一致での承認とさせていただきます。

度々で恐れ入りますが滝越会長エレクト、ご挨拶をお願いいたします。

ご挨拶 滝越 康雄会長エレクト

私は最近、勉強不足なので会報くまなく見ていました。本当はこのスピーチなかったのです。まったく飛び入りでございます。ノミニが話すことなのです。いま、準備の真っ最中でございます。ただ、去年の舟木会長時代から、クラブじゃなくてもう時代そのものが変化しております。そして、みんながそのことを認識したのは、今までの普通の状態が非常に貴重なものであって、個人は家に閉じこもり、会社はリモート、だんだんそうってきている時代で、逆に、クラブというのは非常に価値観を占めております。

この前の日曜日、9時半から17時までZoomで財団のセミナーをやって、言い合ったのです。接近感があつ

て会議室で話すよりもモノが言えるのですよ。喫茶店で話す雰囲気なので、バツバツはっきり言いました。私の性格からして「ロータリー、このままでいいのか」という思いもありますし、「時代に追いつくのか」というものもあります。例えば、「ここで釧路のトップグループが言いだしても、結果として街が落ち込んでいるのじゃ、何にもならないじゃないか」とそこまで言いました。

ということで、第一目標は、クラブ活性化というよりもクラブを3年前ぐらいまで戻して平常にすると。ロータリーとして大きな奉仕というテーマがありますが、奉仕の枠だけでは時代的に間に合わない。例えば奉仕の中に少し地域振興でも入れるとテーマが大きく広がりますので、RIを批判するつもりはないけど、組織そのものがトップの方が一致していないかなど、おこがましいですが、こういう放言をZoomで言いました。これは私、間違っていないのではないかと思います。

何といたしますか、1年間無事にはしますけれど、ちょっと新しい風を起こしたいなという、いつ辞任しても構わないので、そういう年が年ですので最後は言いたい放題言って、実行もしたいと思います。

皆さん、その場面になったらお力添えください。よろしく願いいたします。

議長 杉村 莊平会長

滝越会長エレクト、ありがとうございました。期待しております。頑張ってくださいと思います。続きまして、第2号議案に移ります。前年度の財務報告及び現年度の収支と支出を含む中間報告についてとなります。

まずは、前年度の財務報告を昨年度幹事・荒井剛君よりお願いいたします。

前年度財務報告及び現年度の収支と支出を含む中間報告 荒井 剛前年度幹事



前年度幹事の荒井から前年度の財務報告をさせていただきます。まず、収入の部ですが最終的には合計10万円ほどプラスになっております。当初、会員数97名と予算組したところ、最終的には98名だったこと、また新入会員につきましても当初8名で予算組していたところ、昨年度合計10名の新入会員に入会していただきましたので、その分収入としてはプラスになっております。

次に、支出ですが、ご存じのとおり新型コロナウイルスの関係で、もともと予定していた例会数は46回だっ

たのですが最終的には33回の例会になっております。その他、実施予定だった事業等もできなかったこともありまして、一定の予算が余った形になっております。収支としては、700万円近くプラスになっております。その700万円を以下のように振り分けさせていただきました。

昨年度も特別対策基金を設置していただきまして、そこに今年度、収支差額として700万円が残ったところから300万円を振り替えさせていただきました。また、嵯峨記念育英会についても100万円振り替えさせていただいております。その他、釧路ロータリークラブ周年事業積立金に50万円。また、昨年度更新させていただきました台北中央ロータリークラブ等の姉妹クラブ交流積立基金として50万円を積み立てさせていただきました。

さらにニコニコの分として次年度から収入としてあげるのではなくて、昨年度の実績をそのまま次年度に引き継ぐ形を本年の杉村年度でそのような方針となったとお聞きしております。それを踏まえて昨年度のニコニコ実績52万8,000円をニコニコとして明確に分かるようにさせていただきました。

最終的な繰越金としては、151万2,087円のプラスということになっております。

以上、前年度の財務報告でした。

今年度の中間報告

市橋 亨佳 丞幹事



本年度の中間報告をさせていただきます。中間報告と申しましても、現状、予算実績報告書があるのですが締めているのが10月末までと

いうところで、年度の3分の1の、7月・8月・9月・10月の実績となります。ご承知おきをお願いいたします。

会費収入ですが、皆さま方のご協力を持ちまして概ねの入金はいただいております。まだ、若干名未入金の方がおりますのでそちらの方には個別対応したいと思っております。

事業費の支出ですが、実際のところ約30%の進捗率となっております。9月に1カ月の休会を挟んでおりますので、実際の進捗率としてはちょうどいいところと考えております。

また、先月10月に85周年の記念事業としまして市役所にサーマルカメラの寄贈を行っております。そちらの寄贈内容は釧路ロータリークラブのホームページ「例会報告」の中に特別枠で作っていただいております。ぜひ、そちらをご一読いただければと思っております。

ます。
私からは以上となります。

議長 杉村 莊平会長

市橋幹事、ありがとうございました。以上で中間報告を終わりますが、皆さまの拍手をもちまして、承認とさせていただきます。いかがでございますでしょうか。

(拍手)

はい、ありがとうございます。皆さまの拍手をもちまして、ご承認とさせていただきます。以上で本日の議案は終了となります。時間どおり終わることができました。

皆さまのご協力により、円滑に進行終了することができましたので、以上で議長の任を解かせていただきます。

どうもありがとうございました。